

# 「地域と商店街の互恵的関係性を構築」

## そしてコミュニティーの回復

### “新豎町で、まちなか商店塾スタート！”

#### ○商店塾を開講する「畳世(たたみぜ)」とは

着物のセレクトショップ、古着のコーディネート提案・販売している商店である。店主の川田美紀氏が7年前に当地で起業、「町家」を活用し開店したもの。川田氏の古着の着物のコーディネートが魅力となり、固定的なファンを持っている。課題は古着の仕入れにある。古着市場やネット購入が主力で店独自の仕入れルートを持っていない。そのため、商品構成で独自性をアピールすることが難しい。



#### ○商店塾で提案する強み・魅力とは

タンスにしまっている着物を活用できるコーディネート力や着物の有効利用。祖母や母の着物を孫や娘が活用する、それが日本の風習・文化の再生に繋がる。着物を着ること、着物で出かけることの楽しさの提案、また古着のリフォームや古布による小物づくりも提案する。



#### ○地域と商店(畳世)との「互恵的関係」

新豎町やその周辺は、高齢者も多く、着物にはなじみが深い。着物を活用するコーディネートの提案は、近隣住民を商店に足を運ばせるきっかけとなり、商店側としても着物を仕入れる機会が増える。近隣住民がお店で集い、着物談義を交わすことで、ご近所のコミュニケーションを促進する。

#### ○～まちなか商店学習塾～新豎町で“開講”

★【「畳世」の商店塾で実施する具体的な学習概要】

##### 【塾長】

「畳世」代表 かわだみき 川田美紀 氏

##### 【塾テーマ】

～きもの再発見～世代をつなぐ和の文化～

- ・着物(古着)の現代的なコーディネートの提案
- ・マネキンを使ったコーディネートの実演
- ・受講者が持ち込んだ着物のコーディネート相談

##### 【想定する参加者は】

- ・近隣住民(着物に関心のある人、主に女性、年齢不問)
- ・三世代交流(祖母世代、母世代、娘世代)が可能な構成が理想的

##### 【参加者へのメッセージは】

- ・畳世は皆様からお預かりした「思い出のこもった大切な着物」を丁寧に扱い、上手に着ていただける方に販売いたします。



**【参加者に期待する次のアクションは何か】**

- ・ダンスに眠っている着物を見直してみる

**【商店塾を実施する畳世の効果は】**

- ・地域住民が着物を持ち込むことが定着し、金沢の古着を扱う店という独自のイメージを確立できる。